

長崎県及び佐世保市の教育方針の基づき、本校の歴史と伝統を踏まえ、地域・家庭の実情ならびに児童の実態に即して、人間性豊かで21世紀をたくましく生き抜くために、**自主性と社会性に富んだ自立した児童の育成**をめざす。

そのためには、全教職員が**教育者としての使命感と責任を自覚**し、深い教育愛とすぐれた指導力を身に付け、組織的な力を結集して本校教育の充実・発展に努める。

学校教育目標：**夢に向かって自ら学び、豊かな心と強い体をはぐくむ児童を育てる**

【よ】よく考える子

【し】しんせつな子

【きた】きたえる子

*確かな学力の育成
*自ら学ぶ児童の育成
*創造力の育成

*感性豊かな心の育成
*相手を受け止める心の育成
*感謝する心の育成

*たくましい身体づくり
*耐性の涵養
*コミュニケーション力の育成

めざす学校像

・活気ある学校
・落ち着きある学校
・温かい学校

めざす子ども像

・思いやりのある子ども
・自主性を発揮する子ども
・ふるさとを愛する子ども

めざす教師像

・愛情豊かな教師
・信頼される教師
・向上心あふれる教師

学校経営スローガン 3つの「えがお」でつながりあう
～じぶん・なかま・みんな～

重点指導事項

【よ】よく考える子

○確かな学力の育成
○主体的・対話的に学ぶ児童の育成
○読解力、表現力の育成
○キャリア教育の充実
○地域学習の充実
○読書活動の充実
○一人一台端末の効果的活用
○外国語活動の充実

【し】しんせつな子

○基本的生活習慣の確立
○心の教育の充実
○コミュニケーション力の育成
○特別支援教育の充実
○生徒指導の充実
○ふるさと愛の育成
○俳句創作の充実
○地域・家庭との協働

【きた】きたえる子

○安全指導の充実
○外遊びの奨励
○健康教育の充実
○メディアコントロールの充実
○食育指導の充実
○感染予防の充実
○教育環境の充実

学校教育目標の実現に向けたキーワードは <共有と協働>

○目標の共有 ○参画意識の共有 ○一人一人が当事者であることの共有
○担当を尊重し協働 ○研修をとおして協働 ○地域関係者、保護者との協働

重点指導事項について

【よ】よく考える子	【し】しんせつな子	【きた】きたえる子
○確かな学力の育成 ・基礎的・基本的内容の習得 ・付けたい力を明確にした授業 ・学習規律の確立 ・ICTの効果的運用 ○主体的・対話的に学ぶ児童の育成 ・なぜ？を大切にした授業 ・課題、見通し、ゴールの流れ ・表現力の育成 ・達成感を得る取組 ・ICT、思考ツール、話し合いルール ○読解力、表現力の育成 ・課題追求へのスキルの育成 ・言語事項の理解と活用 ・図書館との連携 ○キャリア教育の充実 ・地域人材の活用 ・ゆめ、あこがれの醸成 ○地域学習の充実 ・総合的な学習の時間の運用 ・地域素材の活用 ○読書活動の充実 ・学校司書の活用 ・読書量（平均100冊） ・読書の質の向上（選書の勧め） ○一人一台端末の効果的活用 ・個別最適化への活用 ・利活用ルールの徹底 ・系統性のあるスキル向上 ○外国語活動の充実 ・中学年から高学年への移行 ・低学年への導入を踏まえた対応 ※学年の系統性を図る	○基本的生活習慣の確立 ・あいさつの習慣化 ・時間を守る ・返事と目を見て聞く ・忘れ物、提出物の意識 ○心の教育の充実 ・考え、議論し、実践に生かす道徳授業 ・自分なりの考えを大切にする ・思いを言葉にする ・人権、平和教育の充実 ・思いやりのある言葉のシャワー ○コミュニケーション力の育成 ・人間尊重の精神の涵養 ・互いの考えを尊重 ○特別支援教育の充実 ・情報の共有と組織的対応 ・コーディネーターの有効活用 ○生徒指導の充実 ・ルールを守る指導の徹底 ・時と場に応じた言葉づかい ・児童の多角的観察や共感的理解 ○ふるさと愛の育成 ・地域のことを地域の人と学ぶ ・地域の人への感謝 ・児童がふるさとにできること ・保幼小中との連携 ○俳句創作の充実 ・感性を育む ・言葉の厳選 ○地域・家庭との協働 ・地域活動への積極的参加 ・家庭との連携 ・PTA活動の充実	○安全指導の充実 ・登下校の安全 ・室内や校舎内の過ごし方 ・危機管理の対応 ○外遊びの奨励 ・自由遊び、縦割り遊びの推進 ○健康教育の充実 ・保健指導の充実 ・早寝、早起き、朝ご飯 ○メディアコントロールの充実 ・メディア研修会の実施 ・リテラシー教育の充実 ・保護者との連携 ○食育指導の充実 ・食物アレルギー対応 ・フッ化物洗口への対応 ○感染予防の充実 ・定められた取組の確実な実践 ・状況に応じた適切な対応 ○教育環境の充実 ・備品、物品の整理 ・時季、目的に応じた掲示 ・啓発、広報の充実 ○言葉を鍛える ・俳句活動 ・漢字の活用、言語領域の充実

令和5年4月1日

吉井北小学校長 佐々 恭

1 小学校の役割は、社会に通用する自立した人間の基礎を育てることです。

子供の自立と社会性は、「主体的、対話的で深い学び」をとおして育まれます。教職員として、研鑽に励み互いに磨きあう実践から自身の力量を伸ばしていきましょう。

発達段階に応じてその学年で身に付けるべき力(基礎的・基本的学習内容)が備わっていなければ、その先の学力を求めることはできません。また、学習規律や学習習慣も基本的に身に付けるべき力と言えます。担任だけが育てるのではなく、保護者にもその現状を伝え、連携して子供を育てていきましょう。

2 子供が安心して過ごすことができるのは、約束を守り合う集団をつくることです。

社会は規律で守られています。学校は小さな社会ですので、規律が守られるべき世界です。規律が守られないまま放置されれば、そこにいる子供たちは不安になり、内に閉じこもったり苛立ったりして、不安なまま何も手につかなくなっていくます。学校のきまりや人として当たり前のふるまいは、当然守られなければなりません。不安を生じさせないことが重要です。きまりや言葉づかいには、特に注意して指導していきます。

3 自主性・主体性を育てる上で仲間がつながりあうことが大切です・・・「えがお」を大切にしたい学校経営

新しい学力の核は「主体的・対話的で深い学び」を授業を中心に展開することです。しかし、自分よがりの自主性・主体性では、同じ方向に向かって児童が学びあう姿は実現しません。根底に「自分はみんなから認められている」承認の欲求と自己有用感が必要です。互いの思いを受け止めながら、その中で自分の意見を述べ合い、それぞれで高めあう集団作りをしなくてはなりません。教師は、まず、一人ひとりを見取りながら、学校経営方針に基づき、母体となる学級経営を充実させましょう。支えあう集団として、自主性、主体性、そして対話活動を入れた深い学びを追求していきましょう。

4 危機管理意識をもつことは、働き方改革につながります。

問題行動や心の悩みに関する子供の変化は、必ずサインがあります。そのサインを見逃さない危機意識をもちましょう。

危機を感じたらすぐに共有し、チームで対応していきます。保護者ともしっかりと連携をします。迅速に行動することで、保護者の信頼も厚くなり、ひいては、私たちの業務も効率よく進めることができます。

5 未来のこの地域を担うのは、子供たちです。

ふるさと吉井町の未来を担うのは、この子供たちです。子供を育てることは地域の未来を守ることです。地域や保護者が子供の学びにかかわる必然はそこにあります。地域の方々と子供たちの繋がりは学校教育が支えています。人と人とのつながりを大切にし、子供たちの「ふるさと愛」を育み、吉井町の未来を守っていきましょう。

6 世界とともに生きる人材育成のために・・・英語教育、ICT 教育の推進

子供たちが大人になるころは、グローバルな社会になること、ICT 社会になることが予見されています。その備えをする必要があります。英語教育と ICT 教育は避けて通ることはできません。もちろん授業において基礎的なスキルの育成を図りますが、英語や ICT を使いこなすスキルを育てるために、日常化・習慣化が効果的です。教師自身も果敢に挑戦し、教師同士も協働しながら学び合っていきましょう。